

初当選後、即刻廃止したはずの区長退職金・・・だが亡霊のごとく

復活していた2期目保坂展人区長退職金 2400万円



【おおば正明の一口解説】●保坂氏の最初の選挙公報には「区長退職金は即刻廃止します。」とありました。(国会議員には退職金が無かったから?)●そこで5年前の初当選直後、最初の任期分(4年間)の退職金の一時支払い停止というカラクリの条例を提案しました●つまり「廃止」ではなかったのです●現在ではその停止期限は過ぎて、もらえるのです。(支払いは任期終了後)●2期目も退職金を止めるには“停止条例”を改めて提案しなくてはなりません●しかし保坂区長にはその動きはありません●「区長退職金は即刻廃止します。」というのは、最初の4年間だけの公約だったのでしょうか?●2期目は公約に書いてないから、受け取るんだ!ということなのでしょうか?●保坂氏の、このような確固たる信念や考えのない「場当たりの政策」の乱発は区政を混乱に陥れています。

区長退職金廃止は一時支給停止だった

保坂区長の発言の変化

私自身の区長退職金 2400 万円の退職金の支給廃止を定める条例を提出させていただきます。区長選挙に臨んだ際、有権者との約束であり、有言実行のスタートを切らせていただきたいと思います。
(2011年6月13日議会発言)

再選前

区長退職金を廃止しますという条例を提出した価値観は変わっておりません。
(2014年9月16日議会発言)

再選後

一期目の扱いではなく、退職金のあり方、他の特別職とともにどうするのかということについて検討を加え、決してみたいというふうを考えております。
(2015年6月16日議会発言)



保坂区長と区議会の関係 区長が長引かせる庁舎問題

現在の保坂区長と、区議会(多数派)との関係は、**比喩的表現**、イメージで示すと下記の写真の通り。原因は庁舎問題等々。なお**比喩的表現**は裏面参照。

保坂提案の予算に議会のメス(修正)が入るか



●世田谷区の現在の本庁舎は築56年。21年前の阪神大震災後に耐震補強をしたものの、内部の老朽化はどうにもなりません(首都直下に備えた災害対策機能が23区最低クラス)●そこで保坂区長が平成26年3月に3点の整備方針を示したのです●一つ目は新庁舎建設の場所を現在の場所とすること●二つ目は延床面積を最低でも4万5千㎡にすること●三つ目は平成36年をメドに完成させること●しかし、2年たった今でも、何も決まらない状態が続いています●最大の原因は保坂区長が**現在の景観保存**にこだわり続け、高額、且つ不便な新庁舎を再び作ろうとしているからです(裏面参照)●その増額費用はざっと100億円●もちろん100億円もの区民の税金を不便な庁舎に使うことは許されません●保坂区長は最近では本会議で答弁不能になるなど、理屈が通じない答弁が多発しているのです。ご存知ですか。



本庁舎問題の比較例 H27年決算作成資料 H28年庁舎整備検討素材より

	事業費	工期	広場
保坂案	408億	7年6ヶ月	2,500㎡
H19年度修正案	300億	5年2ヶ月	4,000㎡

※H19年度修正案については編集後記(裏面)をご覧ください。

世田谷区議会議員 世田谷行革110番

おおば正明 区政報告

多くの区民の皆さんに読んで戴きたい特別号です。

グーグル検索等で、おおば正明 と入力すれば おおば正明 @ 世田谷区議 がヒットします。私のホームページです。

<http://ooba.muse.bindsite.jp/>



〒157-0063 粕谷3-15-3 (TEL&FAX 3307-1179) メールは 110ban@t3.rim.or.jp

第56号 2016年4月